

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公表番号】特表2009-514206(P2009-514206A)

【公表日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2008-537252(P2008-537252)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/00 (2006.01)

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 33/00 J

H 0 5 B 37/02 L

H 0 5 B 37/02 J

H 0 1 L 33/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光ダイオード（LED）発光体システムであって、  
混合色光を発生するための複数の色の複数のLED光源と、  
所望の色を有する混合色光を表す設定点値と上記LED光源によって発生された混合色光の色を表す第1の制御データとの差に従って上記LED光源を制御する手段と、を含み、  
上記第1の制御データは少なくとも1つのカラーセンサによって供給される、LED発光体システムであって、  
上記各LED光源の温度を導出する手段と、  
上記LED光源の温度を含む第2の制御データに従って上記設定点値を補償する手段と、  
を含むことを特徴とするLED発光体システム。

【請求項 2】

上記第2の制御データは、LED光源毎の基準LED光源温度を更に含み、それによって、上記LED光源温度と上記基準LED光源温度との差が、上記LED光源のピーク波長シフトの量の測度になることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項 3】

上記第2の制御データは、異なるピーク波長に対する上記1つまたは複数のセンサの感度を表すデータを更に含むことを特徴とする請求項1または2に記載のシステム。

【請求項 4】

上記第2の制御データは、上記LED光源のスペクトル出力を表すデータを更に含むことを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載のシステム。

【請求項 5】

上記導出手段は、上記LED光源が取付けられているヒートシンクの温度を測定する温度センサを含むことを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載のシステム。

【請求項 6】

上記導出手段は、少なくとも測定されたヒートシンク温度及び複数のＬＥＤ光源の熱モデルに基づいて上記ＬＥＤ光源温度を計算する手段を更に含むことを特徴とする請求項５に記載のシステム。

【請求項７】

上記少なくとも１つのカラーセンサは、フィルタ付きのフォトダイオードであることを特徴とする請求項１乃至６の何れか１項に記載のシステム。

【請求項８】

混合色光を発生するための複数の色の複数のＬＥＤ光源を含むＬＥＤ発光体を制御する方法であって、

所望の色を有する混合色光を表す設定点値と上記ＬＥＤ光源によって発生される混合色光の色を表す第１の制御データとの差に従って、上記ＬＥＤ光源を制御するステップを含み、上記第１の制御データは少なくとも１つのカラーセンサによって供給される、方法であって、

上記各ＬＥＤ光源の温度を導出するステップと、

上記ＬＥＤ光源の温度を含む第２の制御データに従って上記設定点値を補償するステップと、  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項９】

混合色光を発生するための複数の色の複数のＬＥＤ光源を含むＬＥＤ発光体を制御するシステムであって、

所望の色を有する混合色光を表す設定点値と上記ＬＥＤ光源によって発生される混合色光の色を表す第１の制御データとの差に従って、上記ＬＥＤ光源を制御する手段を含み、上記第１の制御データは少なくとも１つのカラーセンサによって供給される、システムであって、

上記各ＬＥＤ光源の温度を導出する手段と、

上記ＬＥＤ光源の温度を含む第２の制御データに従って上記設定点値を補償する手段と、  
を含むことを特徴とするシステム。